

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 12 日

## 【評価実施概要】

|       |                                  |       |                   |
|-------|----------------------------------|-------|-------------------|
| 事業所番号 | 3870201237                       |       |                   |
| 法人名   | 社会福祉法人 成寿会                       |       |                   |
| 事業所名  | グループホーム関前                        |       |                   |
| 所在地   | 今治市関前岡村甲2574-3 (電話) 0897-88-2200 |       |                   |
| 管理者   | 齋藤 知美                            |       |                   |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班                |       |                   |
| 所在地   | 愛媛県松山市持田町三丁目8-15                 |       |                   |
| 訪問調査日 | 平成 19 年 8 月 22 日                 | 評価確定日 | 平成 19 年 12 月 13 日 |

【情報提供票より】 (平成 19 年 7 月 31 日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                   |                        |      |
|-------|-------------------|------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 11 月 25 日 |                        |      |
| ユニット数 | 2 ユニット            | 利用定員数計                 | 18 人 |
| 職員数   | 13 人              | 常勤 10 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 | 人    |

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |           |                |     |   |
|---------------------|-----------|----------------|-----|---|
| 家賃(平均月額)            | 53,000 円  | その他の経費(月額)     | 円   |   |
| 敷金                  | 有( )円 ○ 無 |                |     |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( )円 ○ 無 | 有りの場合<br>償却の有無 |     |   |
| 食材料費                | 朝食        | 円              | 昼食  | 円 |
|                     | 夕食        | 円              | おやつ | 円 |
|                     | または1日当たり  | 1,300 円        |     |   |

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 7 月 31 日事業所記入)

|       |         |         |     |      |      |
|-------|---------|---------|-----|------|------|
| 利用者人数 | 17 名    | 男性      | 1 名 | 女性   | 16 名 |
| 要介護 1 | 2 名     | 要介護 2   | 2 名 |      |      |
| 要介護 3 | 9 名     | 要介護 4   | 4 名 |      |      |
| 要介護 5 | 0 名     | 要支援 2   | 0 名 |      |      |
| 年齢    | 平均 86 歳 | 最低 74 歳 | 最高  | 96 歳 |      |

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

|    |    |                    |
|----|----|--------------------|
| 指定 | なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 | なし | 指定認知症対応型通所介護       |
| 届出 | なし | 短期利用型共同生活介護        |
| 加算 | なし | 医療連携体制加算           |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム関前は、山と海に囲まれた自然豊かな環境の中に建てられている。ホームは総檜造りで、玄関に入ると檜の香りとぬくもりに包まれていて、温かいほっとする空間づくりがされている。管理者及び職員は其中で利用者の日々の暮らしを支えており、利用者はのんびりと自分のペースで思い思いの生活を送っている。ホームは地域の行事に参加し、徐々にではあるが、地域との交流を深めてきている。

## 【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)  
理念については職員全員で話し合い具体化し実践している。鍵については3か所かけていたのを今は1か所だけにしている。地域との交流は少しずつできてきている。トイレの扉の工夫や研修への参加、防災については今後の課題として残されている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)  
今回の自己評価は管理者と計画作成担当者で行い、職員は参加していない。質の確保・向上につなげるためにも、職員全員で自己評価に取り組むことが求められる。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)  
外部評価の結果及び現況報告、事故報告をし意見交換を行っている。会議を開くことにより、地域の情報を得たり、意見を出してもらってその意見を活かすように取り組んでいる。運営推進会議のメンバーに自治会長だけでなく数名の地域住民の参加を働きかけて、さらにサービスの向上に取り組むことを望む。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)  
家族の来訪時に声をかけ、意見を出してもらえるよう心がけている。できれば家族会や意見箱の設置も考慮に入れて、家族が気軽に意見を伝えられるような機会をつくることを期待したい。また広島県だけでなく愛媛県の公的な苦情相談窓口の記載も望みたい。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)  
地域の行事に参加し、地域との交流は徐々にできてきている。さらに地域の一員としての役割を担ったり、ホームについての啓発を行ったり、ホームの行事への参加を積極的に働きかけて、連携を深めていくことを期待したい。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム関前

(ユニット名) あこ

記入者(管理者)  
氏名 大西 静枝

評価完了日 平成 19 年 7 月 31 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |  |  |                            |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |  |  |                            |  |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | (自己評価)<br>理念を作り、目の付きやすい場所に掲示している。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び全職員で意見を出し、話し合いを行って、ホーム独自の理念をつくり実践している。                               |                            |  |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | (自己評価)<br>管理者は現場で、職員と同じ仕事をして、職員の言葉に常に耳を傾けるよう努力している。<br><br>(外部評価)<br>理念をホームの玄関及び職員トイレのドアに掲示しており、常に目にすることができるようにして、共有化を図っている。 |                            |  |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価)<br>ご家族には、初回の面接時、または面会時などに話をしている。<br>地域の方にはまだ啓発が必要。  |                            |  |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |   |                            |  |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>散歩などの外出時には声を掛けて頂くが、それ以上の交流はまだ見られていない。<br>地元の職員が増えたので、そこから発展させて行きたいと思う。  |                            |  |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>お祭りや行事の時には、声を掛けて頂き、参加するようにしている。<br><br>(外部評価)<br>地域から声をかけてもらい、祭りなど地域の行事に参加している。地域とのつきあいは徐々にできてきている。                   | ※                          | 自治会などに参加して地域の情報を集め、地域の一員として参加したり、役割を担ったりして地域との交流を深めていくことを期待する。 |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>まだ地域に貢献はできていない状態。取り組みが必要。   |                            |  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |   |                            |  |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>前回の外部評価の評価を参考に、改善出来る点は改善し取り組んだ。<br>まだ改善出来てない点もあり。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び職員は評価の意義は理解しているが、改善されている項目と、まだ改善されていない項目とがある。 | ※                          | まだ改善されていない項目については、改善計画を立てて順次取り組むことを期待する。                       |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>2～3か月に1回、会議を開き地域の人たちの意見を参考にし、改善の参考にしている。<br><br>(外部評価)<br>外部評価の結果及び現況報告や事故について報告し、意見交換や話し合いが行われており、その意見を活かすように取り組んでいる。 | ※                          | 参加メンバーに自治会長だけでなく他の地域住民の参加を積極的に働きかけ、理解を深めてもらい、サービスの向上に活かしていくことを望む。 |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>まだ取り組めていない。<br><br>(外部評価)<br>運営推進会議以外での連携については、まだ取り組みは不十分である。  | ※                          | 市の担当者にホームの実情やケアサービスの取り組みを伝える機会をつくり、共に取り組んでいくことが望まれる。              |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)   |                            |   |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>学ぶ機会は少ないが、ケアカンファレンスにて、職員に対する意識付けを行っている。  |                            |   |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |   |                            |  |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>初回の面接時に十分行い、契約時には必ず聞くようにしている。   |                            |  |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>日常の中で常に、利用者の声に耳を傾けるようにし、毎日の申し送りやケアカンファレンスにて、意見を交換するようにしている。   |                            |  |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>毎月の請求書送付時に一緒に1か月の生活の様子を書いたものと、写真を添付し発送している。<br>また面会時や面会が難しいご家族に対しては電話連絡をしている。<br><br>(外部評価)<br>毎月の請求書と共に、1か月の生活ぶりを書いて郵送にて報告している。金銭管理については、家族の訪問時に確認のサインをもらっている。 |                            |  |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>面会時に聞くようにしている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時には声をかけ、意見を出してもらえよう心がけている。   | ※                          | 家族会や意見箱の設置も考慮に入れて、家族が気軽に意見を伝えられるような機会をつくることを望む。また広島県だけでなく、愛媛県の公的な苦情相談窓口の記載も望む。 |

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 16                 |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>日常の業務の中や、ケアカンファレンスなどで聞くようにしている。  |                            |  |
| 17                 |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>毎月、ローテーションを組み、常に各ユニットに3名の職員を配置するようにしている。また、行事などで人手が要するときにも柔軟に対応している。   |                            |  |
| 18                 | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>異動に関しては、難しい面あり。異動があった場合は十分に声掛けを行い対応している。<br><br>(外部評価)<br>法人内の人事による勤務交代はあるが、今の所は利用者への影響は見られていない。ユニット内での職員の固定については配慮している。 |                            |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |  |  |                            |  |
| 19                 | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修は難しい面あり。日々の業務で気になった点を、その都度注意、声掛けを行っている。<br><br>(外部評価)<br>職員の法人内外への研修参加が少ない。また研修報告書が十分でない。                              | ※                          | 職員の質の向上のためにも、法人内外の研修に対して計画を立て積極的に参加できるような配慮を望む。また研修内容の報告を全職員で共有する工夫を検討することを期待する。 |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>していない。   |                            |   |
|                                  |      |   | (外部評価)<br>地域の同業者との交流は積極的にできているとはいえない。                              | ※                          | 同業者と交流する機会をつくり、勉強会や連携を図り、サービスの質の向上に向けての取り組みを期待する。 |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>職員が気になっている事は、すぐに言ってもらうように、日ごろからコミュニケーションを図っている。          |                            |   |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>職員によって個人差あり。職員の個性、良いところを活かせるように配置している。                   |                            |   |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |  |                            |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                            |   |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>初回の面接時や契約時には、丁寧に説明を行い、入居当初は十分に声掛けを行い、少しでも早く慣れるように努力している。 |                            |   |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)   |                            |   |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 25                        |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>初回の面接時や契約時には、丁寧に説明を行っている。面会時などでも聞くようにしており、難しい場合は電話連絡をしている。  |                            |  |
| 26                        | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>入居直後には十分声掛けを行い、注意深く観察を行い、対応を考える様になっている。<br><br>(外部評価)<br>サービスを開始する前に訪問したり、可能であればホームに来てもらったりして馴染めるように配慮している。                             |                            |  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |      |  |   |                            |  |
| 27                        | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>日常の中では、常に利用者とともに一緒に生活している、という意識を職員に意識付け、尊厳の眼差しを持って、生活する様になっている。<br><br>(外部評価)<br>職員は、食事づくりや畑づくり等を一緒に行なう中で利用者から教えてもらうことも多く、お互い支えあう関係がある。 |                            |  |
| 28                        |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>面会時に聞くようにしており、難しい場合は電話連絡を行い、連絡を密に行うようにしている。   |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>入居時にはゆっくりと話を聞き、理解するようにしている。面会時にはゆっくりとした時間を過ごせる様に支援している。   |                            |  |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>場所柄難しい面あるも、通院などは以前からの病院に受診できる様に、通院介助を行っている。   |                            |  |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>日常の中で、常に観察を行い、ケアに繋げるようにして、1人1人の個性を大切にしている。  |                            |  |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>法人内での利用なら可能も、それ以外では難しい面あり。  |                            |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |                            |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |   |                            |  |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>自己表現が可能な方には積極的に話を聞き、取り入れている。困難な方にはなるべく、穏やかに日々過ごせるように努力している。<br><br>(外部評価)<br>各ユニットに本人の似顔絵を書いた用紙に、日々の暮らしの中での要望や、職員が気づいたことなどを書いて一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 |                            |  |

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 34                                    |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>初回の面会時、または日々の暮らしの中で聞くようにしており、認知症などで難しい方には、家族からの情報を頼りにしている。  |                            |   |
| 35                                    |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>日々の暮らしを十分に観察し、毎日の申し送りや、ユニットに置いてあるノートに書き込むようにしている。   |                            |   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                            |   |
| 36                                    | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>毎月、ケアカンファレンスを行い、細かい情報を収集するとともに家族の要望も取り入れるようにしている。<br><br>(外部評価)<br>本人や職員の気づきや意見を取り入れてカンファレンスで話し合い、介護計画を作成しているが、半年更新では利用者にとって十分とはいえない。 | ※                          | 個人記録も介護計画を常に意識して書くことが望まれる。実情に合っていないければすぐ更新し、その時々状態に合った介護計画の作成を望む。                 |
| 37                                    | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>毎日の申し送りや、ケアカンファレンスで話し合い、状況に応じて対応を変えている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画の定期的見直しが半年では十分なケアが行われているとはいえない。  | ※                          | 安定しているように見えても状況は日々変化しており、月1回程度は新鮮な目で見直し、評価を行い、それを記録に残し、本人の現状にあった内容に修正していくことが望まれる。 |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>毎日ケース記録を行うとともに、介護計画は個人ケースに挟み、職員全員が目を通せるように、そして書き込めるようにしている。                           |                            |  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |   |                            |  |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>法人内でのバックアップがあるため、重度化などの要望には対応している。<br><br>(外部評価)<br>かかりつけ医の受診時や、家族の面会時等に移送サービスを行っている。 |                            |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |   |                            |  |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>まだ不十分である。   |                            |  |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>まだ機会はないが、機会があれば支援していくようにする。   |                            |  |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>まだ機会はないが、機会があれば行っていく。   |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)              |
|------|------|--|---|----------------------------|---|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                          | (自己評価)<br>協力医がおり、受診している。連絡も密に行っている。<br><br>(外部評価)<br>本人及び家族の希望する医療機関を受診している。検査結果も個人記録に記載されている。  |                            |   |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>専門医はいないが、認知症に理解があり、入居以前の病院へかかれるように支援している。また、受診時には詳しい症状を連絡・報告している。   |                            |   |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>受診時に詳しい症状を連絡・報告している。  |                            |   |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>病院との連絡を密に行い、連携をとっている。   |                            |   |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>必ず家族への報告をこまめに行い、家族の要望を聞いている。また法人内のバックアップがあるため、そちらの紹介も行っている。<br><br>(外部評価)<br>家族の希望により終末期のケアを経験しているが、ホーム自体の重度化や終末期に向けた対応方針については、具体化された指針が整備されていない。 | ※                          | ホームの対応方針を定めて、本人や家族及びかかりつけ医、ケア関係者との話し合いを早期から行うことを望む。 |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>早い段階で対応を考え、連携をとっている。法人内でのサービス提供も考えている。   |                            |  |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>関係者に細かい情報を提供し、安心できる様に努めている。  |                            |  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>声掛け、対応は日々の申し送りなどで十分意識付けを行い、記録などは関係者以外には、公表していない。<br><br>(外部評価)<br>職員の言葉かけや対応には配慮がうかがえる。薬を服用しながら利用に対して、言葉かけの工夫をして飲んでもらっている。 |                            |  |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>第一に本人の意思を大切に、最大限まで実現を可能にしている。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)           |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>ある程度の時間軸は決まっているが、本人の意思を聞き、決して無理強いせず本人の意思を尊重している。<br><br>(外部評価)<br>利用者は居間にいることが多く、テレビを見たり、職員や利用者同士でおしゃべりを楽しんだり、のんびり自分のペースで過ごされている。 |                            |  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている             | (自己評価)<br>日々の身だしなみは、介助しながら本人と一緒にやっている。<br>理容・美容はまだ希望がないが、希望があれば支援していくようにする。   |                            |  |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | (自己評価)<br>食事作りは無理強いしない程度に、一緒に行い、個人の力を発揮できる様に支援している。<br><br>(外部評価)<br>職員と一緒に楽しみながら食事の準備、後片付けをしている。介助が必要な人には、隣に座りサポートしている。職員は利用者と一緒に食事はしていない。 | ※                          | 職員の休憩時間もあるため、全員とはいかないが、利用者と一緒に食事をする工夫を検討することを望む。 |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している             | (自己評価)<br>お酒・タバコは希望がないが、飲み物、おやつなどの好みは聞き入れるようにしている。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>排泄チェック表に細かい記入を行い、個人に合わせたトイレ介助を行っている。   |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>ある程度は決まっているが、無理強いせず本人の意志を尊重している。<br><br>(外部評価)<br>自分から希望することは少ないが、入浴チェック表を作り、職員が言葉かけを工夫しながら入浴を楽しめるように支援している。入浴時は1：1の対応をしている。 |                            |  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | (自己評価)<br>眠剤や薬に頼らず、日々の生活習慣の改善や、日中の活動を増やすようにしている。   |                            |  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |  |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>生活歴を把握し、畑作り、手芸などを提供している。<br><br>(外部評価)<br>職員と一緒に食事づくりや洗濯を行ったり、畑の水遣りをしてもらったりしている。また、テレビを楽しんだり、ぬり絵や手芸等して過ごしている。                |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>場所柄、難しい面あり、金銭はグループホーム側で管理している。  |                            |  |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>場所柄難しい面あるが、毎日の散歩、ベランダでの畑作りなどを行い、外へ出るようにしている。<br><br>(外部評価)<br>本人の希望やその日の体調に合わせて、散歩したり、買い物やドライブ、地域の行事への参加等、外出の機会をつくっている。また畑に出ることにより外の空気にふれることができるよう配慮している。 |                            |  |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>ドライブや法人での行事、地元の行事に参加をしている。家族の参加は難しいが、参加する事などの電話連絡は行っている。  |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>支援している。   |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>場所柄、頻繁な面会は難しいが、電話連絡を頂き、港までの車で送迎などを行っている。また面会時には、家族でゆっくり過ごせるように支援している。   |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |   |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>身体拘束はしていない。   |                            |  |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>安全面に考慮し、鍵はかけているところもあるが、なるべく鍵をかけないようにしている。<br>また職員には意識付けを行い、日々のケアにあたっている。<br><br>(外部評価)<br>玄関及び各ユニットの扉にも鍵はかけられていないが、まだ一か所だけは鍵をかけている。 | ※                          | 安全面を考えてのことであるが、できれば日中は鍵をかけない工夫を望む。     |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>日中は、必ずユニットに常時2人の職員を配置し、居室巡回などを行い、把握するようにしている。   |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>認知・判断力低下の方が居るため、利用者の共同スペースには危険物を置かないようにしている。  |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>事務所・休憩所に専門書を置き、自由に閲覧できるようにしている。また、申し送り、ケアカンファレンスなどで意識付けを行っている。  |                            |  |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                | (自己評価)<br>職員によって個人差あり。訓練をする必要あり。   |                            |   |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている  | (自己評価)<br>働きかけが必要。<br><br>(外部評価)<br>運営規程に明記された年2回の定期的な訓練が実施されていない。地域の協力体制が確保されておらず、災害対応マニュアルも作成されていない。 | ※                          | 地域の協力を得るための働きかけと、地域住民の参加や協力を得ながら年間を通じての訓練実施、緊急連絡網及び災害対応マニュアルの作成が早急に求められる。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価)<br>面会時や、電話連絡を密におこなっている。   |                            |   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |   |  |                            |   |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | (自己評価)<br>毎日の申し送りで情報を共有し、緊急を要する場合には、その場ですぐに報告するようにしている。  |                            |   |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | (自己評価)<br>薬については医師の説明を十分に受け、薬の詳細が記入している紙を個人ケースに挟み、職員がいつでも見れるようにしている。                                   |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                             |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>夜勤者が便秘の日にちを数え、申し送りするようにしている。それを受け、飲み物や運動を工夫している。また、慢性化している方に関しては、医師に相談し、薬の工夫をしてもらうようにしている。                         |                            |  |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている               | (自己評価)<br>毎食後必ず、口腔ケアを行い、チェックするようにしている。また、個人に合わせて用具を準備している。   |                            |  |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>個人をよく観察し、好みや食べる量を把握し、毎食チェックを行っている。<br><br>(外部評価)<br>食事摂取量は個人記録に記載されており、大まかな水分量の把握もできているが、摂取カロリーや栄養のバランスの把握ができていない。 | ※                          | 食事療法が必要な人もいるので、大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のために、定期的な栄養の専門的な観点からのチェックが望まれる。 |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染症予防マニュアルを作成しており、いつでも見れるように、事務所においている。  |                            |  |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>夜勤帯で消毒を行い、冷蔵庫内も定期的に消毒するようにしている。  |                            |  |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |   |                            |   |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |      |   |   |                            |   |
| 80                             |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>造園に力を入れており、周囲の場所に馴染んでいる。  |                            |   |
| 81                             | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>手すりを設置し、安全面に配慮。また季節の花を飾るようにはらしてあり、掲示物にも力を入れている。<br><br>(外部評価)<br>檜の香りとぬくもりに包まれほっとする空間づくりがされている。しかし、トイレには扉がなくブラインドとなっていて、利用者はブラインドを下ろさず、そのまま用を済ませている場合がある。 | ※                          | トイレの前が洗面所となっているので、本人及び他の利用者や訪問者のことも考えて、トイレの扉の工夫を望む。               |
| 82                             |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>和室もあり、1人でゆっくりできるスペースもあり、リビングと居室は自由に行き来できるように障害物はなくしている。   |                            |   |
| 83                             | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>持ち込みはまだ少ないが、希望あれば持ち込み可能である。<br><br>(外部評価)<br>他の施設よりそのまま入居される方が多いので持ち込みは少ない。季節や時間を感じられる物が少なくやや殺風景で、本人の個性を活かした居室となっていない。                                    | ※                          | 家族に働きかけると共に、持ち込みが少なくても、職員が本人と相談しながらその人らしい居心地の良い居室づくりに取り組むことを期待する。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>常時、換気を行っており、必要時には窓も開けるようにしている。  |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |  |   |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している          | (自己評価)<br>手すりを設置し、安全面に配慮。個人の能力を活かせるように段差なども取り除いている。                             |                            |  |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                    | (自己評価)<br>難しい面あるが、混乱、失敗があった場合はすぐに対応できる様にフォローしている。また、その経験を活かし、次には起こらないように支援している。 |                            |  |
| 87                      |      | ○建物の外周リや空間の活用<br>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                            | (自己評価)<br>ベランダにてご飯を食べたり、畑作りを行っている。また洗濯物を干したりと活用している。                            |                            |  |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 項 目              | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)               | 判断した具体的根拠   |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | 1 ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいの<br>評価) 3 利用者の1/3くらいの<br>4 ほとんど掴んでいない | 自分の意思をはっきりいえる方は、積極的に聞くようにしているが、自分の意思を伝えずらい方に関しては、難しい面あり。そういった方にも穏やかに過ごせる様に支援している。         |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | (自己 ① 毎日ある<br>評価) 2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                  | 夕食後や、入浴中はゆっくり時間が取れるのでその時に聞くようにしている。特に入浴中は1対1で関わられるので、昔話や願望を聞き出す様にしている。                    |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 職員の働きかけが必要な方に関しては、どうしても職員のペースになりがちだが、自分でペースを作れる方に関しては、そのペースを大切に支援している。                    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 職員が積極的に声掛けをするだけでも違った表情を見ることが出来る。また職員が働きかけをしなければ表情の変化が乏しい。                                 |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) 2 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 土地柄、難しい面あり。だが、毎日の散歩やドライブ、行事などで外出は積極的に行っている。また、ベランダには畑を作っているので畑作りなどにも参加して頂いている。            |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 入居以前からのかかりつけ医に、入居後もかかれる様に支援している。受診記録をつけ、医師や看護師に細かく情報を提示している。状態が変化したらすぐに受診を行い、医師の指示を仰いでいる。 |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている           | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) 2 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 利用者の意思を尊重し、極力利用者の望む生活ができる様に支援している。  |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | (自己 1 ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない    | 面会時には必ず、家族に要望を聞くようにしている。また面会が難しい家族には電話連絡を行い、聞くようにしている。                                    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                | (自己 1 ほぼ毎日のように<br>評価) 2 数日に1回程度<br>3 たまに<br>④ ほとんどない                  | 散歩中に地元の方に挨拶するが、それ以上の触れ合いはなかなか見られず、地元の方が訪ねてくる事も少ない。まだまだ地元への啓発が必要。                          |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠  |
|-----|---|---|--|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている<br>(自己 2 少しずつ増えている<br>評価) ③ あまり増えていない<br>4 全くいない           | 2~3か月のペースで会議を開催しており、グループホームの現状は知ってくれている方は少しは居るが、それ以上増えていないのが現状。  |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 職員に個人差があるも向上心を持って、働いている職員は多い。職員の個性を活かし、業務や行事の充実に繋がっている。          |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいが<br>評価) 3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | グループホームに入居してからの、表情の変化や身体的な安定などを考慮すると、ほとんどの入居者は改善の方向に向かっていると思われる。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 ② 家族等の2/3くらいが<br>評価) 3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 面会時などに、「ここに来てから表情が良くなりました」などの言葉を頂いたりしている。                        |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

申し送りノート以外にも、各ユニットにノートを置き、利用者1人1人の状態、要望、声掛けの成功例を記入し、日々の業務に活かしている。  
 月1の請求書の送付時に1か月の生活の様子をまとめて、ご家族に送付している。  
 畑を作り、手作りや収穫の喜び、または自分の持っている技術を活かせるような、場面作りを積極的に行っている。  
 法人内でのバックアップあるため、プールでのリハビリ、陶芸教室、パン教室、エステなどの余暇活動への参加を行い、QOLの向上に努めている。  
 月に1回は各ユニットでカンファレンスを開催し、職員同士での情報の共有とともに、利用者への共通の働きかけの確認を行っている。また、日々の業務の見直しなどもカンファレンスにて行っている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 関前

(ユニット名) めばる

記入者(管理者)  
氏名 齋藤 知美

評価完了日 平成 19 年 7 月 31 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |  |  |                            |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |  |  |                            |  |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | (自己評価)<br>理念を作り、目が届きやすい所に掲示している。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び全職員で意見を出し、話し合いを行って、ホーム独自の理念をつくり実践している。                            |                            |  |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | (自己評価)<br>管理者は出来るだけ、現場の仕事に入り、職員と同じ仕事をするようにしている。<br><br>(外部評価)<br>理念をホームの玄関及び職員トイレのドアに掲示しており、常に目にすることができるようにして、共有化を図っている。 |                            |  |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価)<br>家族には契約時に説明行っている。地域の人には働きかけが必要。   |                            |  |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |   |                            |  |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>散歩中など声は掛けて頂くも、それ以上の交流は出来ていない。   |                            |  |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>地域の行事など、声掛けて頂いて参加している。日常的な交流はまだ啓発が必要。<br><br>(外部評価)<br>地域から声をかけてもらい、祭りなど地域の行事に参加している。地域とのつきあいは徐々にできてきている。 | ※                          | 自治会などに参加して地域の情報を集め、地域の一員として参加したり、役割を担ったりして地域との交流を深めていくことを期待する。 |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>地域への貢献はまだできていない。  |                            |  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |   |                            |  |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>前回の外部評価を参考にして、改善出来る点は改善を行った。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び職員は評価の意義は理解しているが、改善されている項目と、まだ改善されていない項目とがある。          | ※                          | まだ改善されていない項目については、改善計画を立てて順次取り組むことを期待する。                       |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>2～3か月に1回のペースで会議を開催し、意見を交換している。<br><br>(外部評価)<br>外部評価の結果及び現況報告や事故について報告し、意見交換や話し合いが行われており、その意見を活かすように取り組んでいる。 | ※                          | 参加メンバーに自治会長だけでなく他の地域住民の参加を積極的に働きかけ、理解を深めてもらい、サービスの向上に活かしていくことを望む。 |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>会議以外は交流なく、会議のみで質の向上に努めている。<br><br>(外部評価)<br>運営推進会議以外での連携については、まだ取り組みは不十分である。                                 | ※                          | 市の担当者にホームの実情やケアサービスの取り組みを伝える機会をつくり、共に取り組んでいくことが望まれる。              |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>現在1名が活用中。今後も機会あれば活用する予定。   |                            |   |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>学ぶことは難しいが、日々の申し送りやケアカンファレンスなどで、職員に意識付けを行っている。  |                            |   |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |   |                            |  |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>初回の面接時に聞くとともに、疑問にはすぐに答えるようにしている。  |                            |  |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>日々の生活の中で、利用者の声に耳を傾けて、申し送りやケアカンファレンスにて情報を提供とてもらい、ケアに活かしている。  |                            |  |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>毎月、請求書を送る際に、1か月の様子をまとめた紙と、写真を一緒に添付している。<br><br>(外部評価)<br>毎月の請求書と共に、1か月の生活ぶりを書いて郵送にて報告している。金銭管理については、家族の訪問時に確認のサインをもらっている。 |                            |  |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>面会時に聞くようにしている。また、面会が難しいご家族には、電話連絡をしている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時には声をかけ、意見を出してもらえよう心がけている。                                  | ※                          | 家族会や意見箱の設置も考慮に入れて、家族が気軽に意見を伝えられるような機会をつくることを望む。また広島県だけでなく、愛媛県の公的な苦情相談窓口の記載も望む。 |

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 16                 |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>日々の業務の中や、申し送り、ケアカンファレンスなどで意見を聞き、必要時には1対1で話を聞くようにしている。   |                            |  |
| 17                 |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>ユニットに常に3人の職員が居るように配置し、その職員で日々の業務を決めて貰っている。  |                            |  |
| 18                 | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>異動は難しい面があるが、もし異動が行われた場合、声掛けをしっかりと行い、なるべく早く利用者に慣れていくようにしている。<br><br>(外部評価)<br>法人内の人事による勤務交代はあるが、今の所は利用者への影響は見られていない。ユニット内での職員の固定については配慮している。 |                            |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |  |   |                            |  |
| 19                 | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修は難しいが日々の業務の中で、その都度注意・声掛けを行っている。<br><br>(外部評価)<br>職員の法人内外への研修参加が少ない。また研修報告書が十分でない。   | ※                          | 職員の質の向上のためにも、法人内外の研修に対して計画を立て積極的に参加できるような配慮を望む。また研修内容の報告を全職員で共有する工夫を検討することを期待する。 |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>実施していない。<br><br>(外部評価)<br>地域の同業者との交流は積極的にできているとはいえない。 | ※                          | 同業者と交流する機会をつくり、勉強会や連携を図り、サービスの質の向上に向けての取り組みを期待する。 |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>日々の業務や休憩時間などに、気軽の話せるようにコミュニケーションを図っている。               |                            |   |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>職員によって個人差あり。職員の個性や得意なことを行事や業務の中で活かしていった。              |                            |   |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |   |                            |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |   |                            |   |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>初回の面会時や、契約時にゆっくり聞くようにしている。                            |                            |   |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>初回の面接時に聞くとともに、面会時、難しい場合は電話連絡を行っている。                   |                            |   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25                               |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>法人内のバックアップがあるため、そちらの紹介も行っている。  |                            |  |
| 26                               | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>入居直後には、十分に声掛け・様子を観察し利用者が何を求めているか知るようにしている。<br><br>(外部評価)<br>サービスを開始する前に訪問したり、可能であればホームに来てもらったりして馴染めるように配慮している。                   |                            |  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                            |  |
| 27                               | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>一緒に生活をしている、という事を常に念頭に置き、いつ書に炊事洗濯などを行い、利用者の出来る部分を引き出している。<br><br>(外部評価)<br>職員は、食事づくりや畑づくり等を一緒に行なう中で利用者から教えてもらうことも多く、お互い支えあう関係がある。 |                            |  |
| 28                               |      | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>一緒に何かをすることは難しいが、密に連絡をとり、何かあればすぐに来て頂くようにしている。   |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>初回の面接時にゆっくりと話を聞きだし、ケアにつなげていくようにしている。  |                            |  |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>場所柄難しい面あるが、病院は入居前のかかりつけ医に通えるように、通院介助をおこなっている。   |                            |  |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>日々の暮らしの中で様子観察を行い、個性を尊重するようにしている。出来ない部分を補い合える関係作りに努めている。   |                            |  |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>法人内でのサービス提供なら可能だが、それ以外は難しい面あり。  |                            |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |                            |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |   |                            |  |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>自己表現できる方には積極的に耳を傾け、医師を尊重している。難しい方に関しても、穏やかに過ごせるように支援している。<br><br>(外部評価)<br>各ユニットに本人の似顔絵を書いた用紙に、日々の暮らしの中での要望や、職員が気づいたことなどを書いて一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 |                            |  |

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 34                                    |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>初回の面接時や関係者と積極的に連携をとって、情報把握に努めている。  |                            |   |
| 35                                    |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>毎日の申し送りや、様子観察を行い、変化あればすぐに報告するようにしている。  |                            |   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                            |   |
| 36                                    | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>毎月、ケアカンファレンスを開催し、細かい情報を収集し、介護計画に反映するようにしている。<br><br>(外部評価)<br>本人や職員の気づきや意見を取り入れてカンファレンスで話し合い、介護計画を作成しているが、半年更新では利用者にとって十分とはいえない。 | ※                          | 個人記録も介護計画を常に意識して書くことが望まれる。実情に合っていないければすぐ更新し、その時々状態に合った介護計画の作成を望む。                 |
| 37                                    | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>カンファレンスで収集した情報を見直し、状況に応じて対応を変えている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画の定期的見直しが半年では十分なケアが行われているとはいえない。  | ※                          | 安定しているように見えても状況は日々変化しており、月1回程度は新鮮な目で見直し、評価を行い、それを記録に残し、本人の現状にあった内容に修正していくことが望まれる。 |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>毎日個人ケースを記入し、また介護計画は個人ケースに挟み職員が自由に見て、書き込める様にしている。                               |                            |  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |  |                            |  |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>法人内でのバックアップあるため、そちらを紹介している。<br><br>(外部評価)<br>かかりつけ医の受診時や、家族の面会時等に移送サービスを行っている。 |                            |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |  |                            |  |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>実施していない。   |                            |  |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>実施していない。   |                            |  |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>現在1名が活用中。今後も機会あれば活用する予定。   |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)              |
|------|------|--|--|----------------------------|---|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                          | (自己評価)<br>入居以前のかかりつけ医にかかるように通院介助を行っている。<br><br>(外部評価)<br>本人及び家族の希望する医療機関を受診している。検査結果も個人記録に記載されている。   |                            |   |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>専門医はいないが、認知症の理解のある医師にかかり、連携を密にとっている。   |                            |   |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>受診時に状態をしっかりと伝えるようにしている。  |                            |   |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>病院と連絡を取るようにしている。   |                            |   |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>法人内でバックアップがあるため、そちらを紹介している。家族の希望があれば、グループホームでの対応も可能。<br><br>(外部評価)<br>家族の希望により終末期のケアを経験しているが、ホーム自体の重度化や終末期に向けた対応方針については、具体化された指針が整備されていない。 | ※                          | ホームの対応方針を定めて、本人や家族及びかかりつけ医、ケア関係者との話し合いを早期から行うことを望む。 |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>現時点でそういったケースはなし。希望あれば検討していく。  |                            |  |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>関係者に積極的に情報を提供し、円滑に進むように支援している。  |                            |  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |   |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |   |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |   |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>声掛けに関しては職員の意識付けを行い、個人記録に関しては関係者以外には公表していない。<br><br>(外部評価)<br>職員の言葉かけや対応には配慮がうかがえる。薬を服用しながら利用に対して、言葉かけの工夫をして飲んでもらっている。 |                            |  |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>自己決定を引き出し、意志を尊重している。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)           |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>ある程度の時間軸は決まっているが、無理強いせず利用者の意思を尊重している。<br><br>(外部評価)<br>利用者は居間にいることが多く、テレビを見たり、職員や利用者同士でおしゃべりを楽しんだり、のんびり自分のペースで過ごされている。 |                            |  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |   |  |                            |  |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている             | (自己評価)<br>日々の身だしなみは利用者とともにこなっている。理容・美容は希望ないため行っておらず。希望あれば介助を行っていく。また法人内のバックアップにて、エステを実施している。                                     |                            |  |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | (自己評価)<br>一緒に食事は行っていないが、一緒に食事作りを行っている。<br><br>(外部評価)<br>職員と一緒に楽しみながら食事の準備、後片付けをしている。介助が必要な人には、隣に座りサポートしている。職員は利用者と一緒に食事はしていない。   | ※                          | 職員の休憩時間もあるため、全員とはいかないが、利用者と一緒に食事をする工夫を検討することを望む。 |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している             | (自己評価)<br>お酒・タバコは希望者がおらず対応していない。おやつや飲み物は、個人に合わせて支援している。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>排泄チェック表をつけ、個人に合わせた排泄介助を実施している。   |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>ある程度は決まっているが決して無理強いせず、本人の意思を尊重している。また声掛けの仕方を変えたり、時間を置いて対応している。<br><br>(外部評価)<br>自分から希望することは少ないが、入浴チェック表を作り、職員が言葉かけを工夫しながら入浴を楽しめるように支援している。入浴時は1：1の対応をしている。 |                            |  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                  | (自己評価)<br>薬に頼らず、日中の活動を増やしたり、生活パターンの見直しを行い、安眠や休息に繋げている。   |                            |  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |  |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>利用者の個性を観察し、それを伸ばしていけるように支援している。畑作り、手芸などを提供している。<br><br>(外部評価)<br>職員と一緒に食事づくりや洗濯を行ったり、畑の水遣りをしてもらったりしている。また、テレビを楽しんだり、ぬり絵や手芸等して過ごしている。                       |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>お金はグループホームが管理し、必要な時に渡し、そこから払うようにしている。   |                            |  |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>散歩や畑作り、ドライブ、ベランダで食事など外で過ごす時間を増やしている。<br><br>(外部評価)<br>本人の希望やその日の体調に合わせて、散歩したり、買い物やドライブ、地域の行事への参加等、外出の機会をつくっている。また畑に出ることにより外の空気にふれることができるよう配慮している。 |                            |  |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>ドライブ、行事参加などを提供している。家族の参加は難しいが電話連絡か法人内の広報誌で、報告している。  |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>支援している。   |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>場所柄、頻繁な面会は難しいが、面会ある時は港までの送迎を行っている。また、面会時にはゆっくり過ごせるように支援している。  |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|--|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |  |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>職員には意識付けを行い、身体拘束は行っていない。   |                            |  |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>安全面に考慮し、必要などころには鍵を掛けているが、職員がいる日中などははずす様に心がけている。<br><br>(外部評価)<br>玄関及び各ユニットの扉にも鍵はかけられていないが、まだ一か所だけは鍵をかけている。 | ※                          | 安全面を考えてのことであるが、できれば日中は鍵をかけない工夫を望む。     |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>各ユニットには日中は必ず3名の職員を配置し、居室の巡回や人数確認を行っている。  |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>認知・理解力低下している方がいるため、利用者が集まるリビング、お風呂、トイレなどには危険物を置かないようにしている。   |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>専門書を事務所や休憩所において、職員が自由に見れるようにしている。  |                            |  |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                | (自己評価)<br>職員により個人差あり。訓練の必要あり。   |                            |   |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている  | (自己評価)<br>働きかけ必要。<br><br>(外部評価)<br>運営規程に明記された年2回の定期的な訓練が実施されていない。地域の協力体制が確保されておらず、災害対応マニュアルも作成されていない。 | ※                          | 地域の協力を得るための働きかけと、地域住民の参加や協力を得ながら年間を通じての訓練実施、緊急連絡網及び災害対応マニュアルの作成が早急に求められる。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価)<br>面会時、電話連絡時には常に伝えるようにしている。  |                            |   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |   |   |                            |   |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | (自己評価)<br>毎日の申し送りで必ず報告するようにしており、また緊急を要する場合には、その場で報告するようにしている。   |                            |   |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | (自己評価)<br>薬に関しては医師から十分な説明を受け、薬の詳細を書いた紙を個人ケースに挟み、職員が自由に確認できるようにしている。                                   |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                             |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>便秘の日にちを夜勤者が数え、申し送りし、それを考慮したうえで、飲み物や食事などを工夫している。  |                            |  |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>毎食後、口腔ケアを行い、チェックしている。個人のレベルに合わせて用具を変えている。  |                            |  |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>法人内の栄養士の立てた献立を再構築し、提供している。毎食、摂取量をチェックしている。<br><br>(外部評価)<br>食事摂取量は個人記録に記載されており、大まかな水分量の把握もできているが、摂取カロリーや栄養のバランスの把握ができていない。 | ※                          | 食事療法が必要な人もいるので、大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のために、定期的な栄養の専門的な観点からのチェックが望まれる。 |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染症予防マニュアルを作成し、事務所に置いている。また発生時には速やかに実行している。  |                            |  |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>夜勤者が毎日用具を消毒し、冷蔵庫内も定期的に消毒・掃除している。   |                            |  |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|--------------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |  |                            |   |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |      |   |  |                            |   |
| 80                             |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>造園に力を入れており、周囲の環境に馴染んでいる。   |                            |   |
| 81                             | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>季節の花を飾るようにしており、掲示物などにも力を入れている。<br><br>(外部評価)<br>檜の香りとぬくもりに包まれほっとする空間づくりがされている。しかし、トイレには扉がなくブラインドとなっていて、利用者はブラインドを下ろさず、そのまま用を済ませている場合がある。 | ※                          | トイレの前が洗面所となっているので、本人及び他の利用者や訪問者のことも考えて、トイレの扉の工夫を望む。               |
| 82                             |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>和室もあり一人ひとりが自由に過ごせるように配慮している。   |                            |   |
| 83                             | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>持ち込みは少ないが持ち込みも希望があれば可能。<br><br>(外部評価)<br>他の施設よりそのまま入居される方が多いので持ち込みは少ない。季節や時間を感じられる物が少なくやや殺風景で、本人の個性を活かした居室となっていない。                       | ※                          | 家族に働きかけると共に、持ち込みが少なくても、職員が本人と相談しながらその人らしい居心地の良い居室づくりに取り組むことを期待する。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>常時換気扇を回しており、必要ならば窓も開けるようにしている。                   |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |  |  |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している          | (自己評価)<br>手すりを設置し、安全面を考慮している。                              |                            |  |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                    | (自己評価)<br>混乱や失敗が起こった時は素早く対応し、またその経験を活かし、再び起こらないように話し合っている。 |                            |  |
| 87                      |      | ○建物の外周リや空間の活用<br>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                            | (自己評価)<br>ベランダにて洗濯を干したり、食事をしたり、畑作りを行っている。                  |                            |  |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 項 目              | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)               | 判断した具体的根拠   |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | 1 ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらい<br>評価) 3 利用者の1/3くらい<br>4 ほとんど掴んでいない | 初回の面接時や入居時などに聞くようにしており、また、日々の暮らしの中で積極的に聞き出す様にしている。<br>自己表現が困難な方でも、なるべく穏やかに過ごせるように支援をしている。                           |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | (自己 ① 毎日ある<br>評価) 2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                | 夕食後や入浴中はゆっくり時間が取れるので、その時に昔話を聞き出したり、要望、願望を聞くようにしている。特に入浴中は1対1でじっくり関われる場面なので、積極的に聞くようにしている。<br>また、日々の生活の中でも聞くようにしている。 |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 職員の働きかけが必要な方は、どうしても職員のペースになりがちだが、自分でペースが作れる方は、そのペースを尊重している。   |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 職員が積極的に声掛けを行えば、自然と表情が豊かになっていくように思える。  |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 土地柄、難しい面あり。だが、毎日の散歩、ドライブ、行事への参加などで積極的に、外出は行うようにしている。  |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 入居前からのかかりけ医に入居後も、受診できる様に通院介助を行っている。1人1人の受診記録を作り、医師や看護師に情報を提供している。状態に変化があった場合、すぐに受診する様にしている。                         |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている         | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | その時々々の状態に合わせて、職員が利用者に合わせてという考えで支援する様にしている。  |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | (自己 ① ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない  | 初回の面接時、入居時などに聞くようにしており、入居後は面会時、また面会が難しいご家族には電話連絡をするようにしている。   |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                | (自己 ① ほぼ毎日のように<br>評価) ② 数日に1回程度<br>3 たまに<br>④ ほとんどない                | 毎日の散歩途中で声を掛けて頂く事はあるが、それ以上の交流は図れていない。<br>地元の職員が増えてきたので、そこから地域の根付いたグループホームになっていくことが必要。                                |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠  |
|-----|---|---|--|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている<br>(自己 2 少しずつ増えている<br>評価) ③ あまり増えていない<br>4 全くいない           | 2~3か月に1回のペースで実施。グループホームの現状は理解して頂いているが、それ以上の交流やつながりはなし。             |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 職員に個人差があるが、向上心を持って働いている職員が、多い。また、職員それぞれの個性を活かし、日々の業務や行事の充実に繋がっている。 |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいが<br>評価) 3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 入居後の表情の変化や、身体的な安定を考えると、充実した生活が送れているのではないかと思う。                      |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 ② 家族等の2/3くらいが<br>評価) 3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 面会時などに「ここへ来て、顔付きが良くなった」などの言葉を頂くことあり。                               |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

全体の、申し送りノートだけでなく、各ユニットに1人1人の日常を詳しく記入するノートを置き、それには個人の要望、状態、声掛けの成功例などを記入し、日々の業務に活かす様になっている。

月に1度、請求書を送付する際、1ヶ月の生活の様子をまとめて、写真と一緒に送付している。

法人内でバックアップがあるので、プールでのリハビリ、陶芸教室、パン教室、エステなどに出掛け、QOLの向上に努めている。

ベランダに畑を作り、手作りや収穫の喜びを味わうとともに、昔得た技術を披露する場面作りを行っている。

月に1度は各ユニットにてカンファレンスを開催し、職員同士での情報の共有をするとともに、利用者への対応の統一化、日々の業務の見直しを行い、職員の意識付けをしている。